

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	北播磨こども発達支援室ゆらんこ		
○保護者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2024年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	児童 20 放デイ 23	(回答者数) 35
○従業者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2024年12月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・送迎サービスがない代わりに、保護者の送迎時に、しっかりと丁寧に話をする時間がもてること。	・支援の仕方や方法等、事業所でやっていることを、詳しく説明している。	・定期的なモニタリングだけでなく、送迎時の保護者の様子に応じて、席をもうけていく。
2	・決して広くはない居室で、時間やプログラムによってスペースの有効活用をしていること。	・利用児童の年齢や、特性に応じて活動の内容や、部屋のわりふりを考えたり、子どもの要求に応じられるようにしている。	・快適に過ごせるようにパーテーション等を使って、広さを確保しつつ、個のスペースも作っていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・送迎サービスがないこと。	・職員の絶対数が少ない	・継続的に人員の募集をしつつ、必要が満たされれば、すぐに実施できるように準備していく。 ・送迎がないことで、保護者と直接話をする機会を大事にし、信頼関係を作っていく。
2	・土曜日の開所日(月1回)が少ないこと。		・継続的に人員の募集をしつつ、必要が満たされれば、すぐに実施できるように準備している。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	北播磨こども発達支援室ゆらんこ					公表日	2025年 2月 1日			
						利用児童数	児発 20	放デイ 23	回収数 35	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	32	2	0	1		・利用人数に対するスペースは確保している。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	31	1	0	3		・職員の増員を検討している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	30	1	0	4		・特性に応じた設備を整備しているが、見直しも検討する。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	31	1	0	3	・決して広いわけではないのですが、上手に空間づくりをされています。 ・いつもきれいです。	・日々の清掃や消毒、換気を実施し、環境整備に努めている。		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	31	2	0	2	・担当の先生が変わられても、先生皆さんが子どもの声をよく知って、よく見てくださっているので、統一した支援をしてくださっています。 ・特性を理解し、いつもかかわって下さり安心です。	・特性に応じた活動を計画している。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	33	1	0	1		・こどもや保護者の願い等に反映できるような支援プログラムを作成している。		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	34	1	0	0	・子どもの事をよく知ってくださっていて、こちらの望むことも良く感じとってくださっているの で有り難いです。	・職員間の情報共有を徹底して行っている。		
	8	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	31	1	0	3		・モニタリング時に話をしている。		
	9	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	32	1	0	1	・無理のない希望している支援を続けてくださっています。	・計画に沿った支援を行っている。		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	6	0	3	・いつも同じような内容を聞くので…	・偏りがないように、見直ししていく。		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	10	7	6	12	・ゆらんご利用時にはない。	・機会があれば調整していく。		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	33	2	0	0		・モニタリングの際に説明している。		
保護者への説明等	13	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	34	0	0	1		・定期的なモニタリング以外に、送迎時にも丁寧な説明を心掛けている。		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	27	2	1	5	・されているのかもしれませんが、興味がないので記憶にのこっていないです。 ・ペアレントトレーニングを受けてみたいですが。	・実施を検討している。		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	34	0	0	1	・子どもだけでなく親のことも、いつも親身に話を聴いて、話を聞いてくださいます。 ・通所の始めと終わりに子どもの体調や様子を丁寧に伝えてくださったり、聞いて下さるので有り難いです。	・定期的なモニタリング以外に、送迎時にも丁寧な説明を心掛けている。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	31	3	0	1	・定期的というよりも、いつもの会話の中でその のに行ってください。	・個々に相談を受けている。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	34	1	0	0	・息子の困りごとについても親身に相談ののって くださいます。	・ニーズに合わせた支援を心掛けている。		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	8	2	11	・されていますが、参加したことがないので、詳しくは分かりません。	・おはなし会を月1回実施している。		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	6	0	3	・急な事でも迅速に対応して下さり、本当に助 かっています。	・申し入れがあれば、迅速に対応できるようにしている。		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	33	0	0	2		・口頭だけでなく、連絡帳や電話等で、または絵カード等視覚的にも伝え、共有できるようにしている。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	4	1	17		・定期的に更新していく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31	0	0	4	・見ていないのでわかりませんが、なされていると思います。	・契約時に同意書の署名をいただき、厳重に管理している。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	32	0	0	3		・マニュアルは策定しているので、いつでも閲覧できるように整備していく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	31	1	0	3		・定期的に実施している。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	30	1	0	4		・引き渡し訓練等で緊急時の対応を周知している。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	31	1	0	3	・少しの事でも、細かく丁寧に伝えてくださり、対応して下さいます。 ・小さなケガでも教えてくださり、安心できました。	・安全に配慮し、小さなことでも報告している。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	33	1	0	1	・親も安心ですし、深い理解のもと、子どもをみてくださっているのので、子どもも安心して通所しています。 ・先生も友達も大好きです。 ・毎週楽しみに通わせてもらっています。	・今後も安心して利用できる居場所になるよう努めていく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	32	2	0	1	・今日はどんなことをするのか、先生たちに会うのが楽しみな様子です。 ・6時間授業の日で疲れていても、ゆらんさんは行きたいと言っています。	・飽きないように楽しく活動できるようにしていく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	32	2	0	1	・先生方が、ハラハラではなく、全てにおいて「共通、共感、共有」されていて統一されています。有り難い環境です。 ・子どもが一番好きな施設です。 ・しいいうなら、送迎があれば有り難いです。	・子どもと保護者のニーズに応えられるよう努める。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	北播磨こども発達支援室ゆらんこ	公表日	2025年 2月 1日
------	-----------------	-----	-------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	・運動する時間と静かな遊びや学習の時間を分ける事でスペースの有効活用している。 ・コミュニティーセンターや公園へ行き、走り回れる環境を作っている。	・工夫しながら適切な活用をする。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	・安全確保のため室内に必ず一定数いるようにしている。 ・新しい事を始めるためには少ないと思われる。	・支援の工夫をしていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・活動によって提供するものを変え、わかりやすくイ提示している。	・パソコンやタブレットを子どもたちにも使えるようにしたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・保育室のマットが経年劣化しており、つまずきやすくなっている危険。 ・室温、湿度、換気を定期的に行っている。	・安全第一に修繕していく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・別室やパーテーションなどで、一人になりたい時の環境を準備している。 ・相談室は順番に利用できるようにしている。	・現状を維持していく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	・利用児童の利用の前後に話し合う場があり、目標を全員で共有できている。	・反省会の時間をもう少し短く終われるようにしたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・送迎時に保護者と出会うお話しすることで、より細やかに意向の確認ができています。	・評価に基づき話し合いをしていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・毎日の話し合いや、月一の職員ミーティングで、より細やかにそれぞれの意見を伝えられている。 ・職員ミーティングとその日の反省会で情報共有できている。	・今後も継続していく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		・機会があれば検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・法人全体研修や新人研修以外にも、講師を呼んだり教材の使い方だったり、多種多様な研修がある。	・研修案内をしていく。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	2		・個々に応じた適切なプログラムを作成していく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	4	2		・十分な話し合いをしていく。
	13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		・日々の反省会や会議等の時間の確保をし、話し合う内容を深めていく。
	14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		・日々の反省会や会議等の時間の確保をし、話し合う内容を深めていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2	・検査結果等もファイルにまとめてあるので、細やかに確認できている。	・子どもに応じた取り組みを行っていく。
	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	2		・ガイドラインを参考にしながら、情報共有していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・メインの先生が基本となる案を立てられていて、それについて意見を入れていく方法で参加している。	・時間の許す限り話し合い、いろいろな意見を反映させていく。

の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	・話し合いを元に、子どもの発達に応じて変化させている。	・時間の許す限り話し合い、いろいろな意見を反映させていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	6	0		・子どもに応じた取り組みを行っていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・毎日行っている。	・時間の許す限り話し合い、いろいろな意見を反映させていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	・反省会（振り返り）をしている。	・日々の反省会や会議等の時間の確保をし、話し合う内容を深めていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・個人記録をつけ、次回に続く支援を検討している。	・今後も継続して行う。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	2	・定期的に行っている。	・今後も継続して行う。
	24	【放デイのみ】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	2	4	・創作活動と地域交流の機会が割合としては少ないが、長期休暇時に上手く取り入れられている。 ・地域交流が難しい。	・子どもに応じた取り組みを行っていく。
25	【放デイのみ】こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・こぼが出ない子どもに対してもカード等使用して意思確認できるようにしている。	・子どもに応じた取り組みを行っていく。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		・今後も継続していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		・今後も継続して整備する。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	0	・経験豊富な先生や専門の資格のある先生に話しを聞く機会があります。	・今後も継続して行う。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	・回数は少ないが、学校の長期休業中に公園に出かけたり、児童センターに行ったりして、他の子どもと遊ぶ体験もできている。	・必要に応じて検討していく。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・送迎時の情報共有は必須です。	・今後も継続して行う。
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	・月1回のおはなし会の開催はあります。	・必要に応じて検討していく。
	32	【児発事業所・児発センターのみ】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1		・保育所等訪問を通しての連携が密にあるので、それを反映させたくらうで、相互理解できるように今後も継続していく。
	33	【児発事業所・児発センターのみ】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1		・必要に応じて連携を強化していく。
	34	【児発センターのみ】地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	35	【児発センターのみ】質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	36	【児発センターのみ】（自立支援）協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	37	【放デイのみ】学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1		・保育所等訪問を通しての連携が密にあるので、それを反映させたくらうで、相互理解できるように今後も継続していく。
38	【放デイのみ】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0		・必要に応じて連携を強化していく。	

	39	【放デイのみ】 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	4	・小学校6年生までの利用なので対象児童がない。	・必要に応じて検討していく。
	40	【放デイのみ】 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2	・毎回参加している。	・今後も継続して行う。
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1	・契約時に丁寧に説明している。	・今後も継続して行う。
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・個々にあわせた計画を作成し、それを基に保護者と話し合いをすることで、よりニーズに沿ったものを作っていくように努めている。	・今後も継続して行う。
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	・モニタリング時に丁寧に説明している。	・今後も継続して行う。
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・連絡帳や電話、または直接お話しして頂ける環境を整えている。	・今後も継続して行う。
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	・おはなし会を月1回開催している。	・きょうだい同士の交流についても検討していく。
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・申し入れがあれば、迅速に対応している。	・今後も継続して行う。
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	2		・HPやSNS等の活用を整備していく。
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・外に持ち出さないよう徹底している。	・今後も継続して行う。
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・口頭だけでなく、絵カード等視覚的なものも使用して伝えるようにしている。	・今後も継続して行う。
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6	・招待して交流することはないが、消防や警察の方に来ていただきたいです。	・地域の行事に参加できる機会を整えていく。
	51	【放デイのみ】 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・個々に相談をうけている。	・今後も継続して行う。
非常時等の対応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	・避難訓練や研修を実施している。	・今後も継続して行う。
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	・研修を行っている。	・今後も継続して行う。
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	・予防接種の状況はわからない。	・てんかん発作等の研修を行う。
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・情報共有し、毎回確認しながら、おやつは他児と分けて提供している。	・今後も継続して行う。
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・定期的に安全確認している。	・安全計画について、訓練を行う際に再度説明し、周知していく。 ・安全点検を行っていく。
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・避難訓練・引き渡し訓練等の際、避難場所や避難経路についての周知をしている。	・今後も継続して行う。
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・日々の反省会のなかで共有している。	・今後も継続して行う。
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・定期的な研修をしている。	・今後も継続して行い、日々確認していく。

60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	・定期的な研修をしている。	・今後も継続して行う。
----	------------------------------------------------------------------------------	---	---	---------------	-------------

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	北播磨こども発達支援室ゆらんこ		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		2024年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54	(回答者数) 36
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		2024年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	2024年 12月 1日		2024年 12月 27日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 18
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・専門職である言語聴覚士が、訪問支援員として訪問し、専門的な支援の提供をしている。	・専門的な視点で、課題や困りごとに向き合うことで、より専門的な角度からも支援方法見つけることができる。	・児童発達支援や放課後等デイサービスを併用している児童については、定期的なモニタリングだけでなく、事業所への送迎時にも、訪問後の報告や相談等の時間を確保している。 ・職員間での情報共有を迅速にし、連携することで、支援の幅をひろげることができる。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・専門職の言語聴覚士が訪問支援事業にのみ従事している。	・保育所等訪問支援事業のニーズが高く、一人で抱える人数が増えており、訪問に係る業務に時間を費やす為、当事業所の事業に携わる時間を確保できない。	・保育所等訪問支援を担当する支援員を増員し、更に充実させていく。
2			
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 北播磨こども発達支援室ゆらんこ

公表日 2025年 2月 1日

利用児童数

54

回収数

36

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	14	2	0	20	・すべて見ているわけではないので、わかりませんが、子どもにあっていて、必要だと思われるものを上手に提供してくださっています。 ・直接見ていないのでわかりません。	・見えない、わかりにくいところがあると思われるので、より丁寧な説明をモニタリング等で伝えていく。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	33	0	0	3	・屏のある個室を用意してくださっています。	・個々に合わせた支援をしていく。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	34	1	0	1		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	33	3	0	0	・お忙しい中、丁寧にご連絡くださいます。	・可能な限り、個に合わせて調整していく。
適切な支援の提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	32	1	0	3		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	32	2	0	2	・その時の気分、状況にも上手く判断、対応してくださっています。	・こどもの特性に応じた支援の提供をしています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	33	0	0	3	・子ども、親のことを気遣ってくださり、丁寧な対応、説明等を行って下さいます。	・今後もニーズや課題に合わせた支援計画を作成していく。
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	31	1	0	4	・学校・担任ともたくさん話を進めてくださっています。	・訪問先の先生方と連携して、取り組んでいく。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28	0	0	8		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	32	2	0	2	・十分すぎるほどです。ありがたいです。	・今後も継続していく。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	31	0	0	5	・きっちりと連携をとってくださっているので、担任からも良いお声をもらっています。	・連携しながらより良い支援ができるようにしていく。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	35	1	0	0		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	35	0	0	1	・いつも丁寧です。	・今後も継続していく。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	20	2	2	11	・されているのかもしれませんが、私自身が興味がないのでわかりません。	・機会があれば検討していく。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	34	2	0	0	・いつもわかりやすく、たくさん状況がわかるほど丁寧に話してくださいます。こちらの話を丁寧な対応で耳を傾けてくださいます。	・必要に応じて話し合いの場を持ち、より良い支援が行えるように連携していく。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	31	3	0	2	・ちょっとした時間でもお話ししてくださいます。	・定期的なモニタリングの時だけでなく、随時相談を受けていく。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	33	3	0	0	・とても信頼しています。	・今後も信頼関係を保ちながら、支援を継続していく。
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	34	1	0	1	・小さな相談、大きな相談関係なくいつも丁寧で、適切で、こちらの気持ちに配慮した対応をしてくださいます。	・申し入れがあれば、必要に応じて迅速に対応できるように努めていく。
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	33	3	0	0		
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	34	0	0	2	・必要と思われることは、学校へ上手く伝えて下さり、有り難いです。	・必要に応じた形で、支援のあり方や助言ができるように努める。	

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	33	0	0	3	・事業所や学校、普段の子どもの様子もしっかりと見てくれています。	・学校や園が挙げる課題や目標に対して、寄り良い支援ができるように、連携して取り組んでいく。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	35	1	0	0		
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	3	0	17		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	32	0	0	4	・見ていないのでわかりませんが、きちんとしていていると思います。	・個人情報の扱いには十分に留意する。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	27	1	0	8		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	31	0	0	5		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	35	1	0	0	・児童発達の中からお世話になっています。 ・学校で先生に会えると喜んでいきます。 ・むしろ喜んでいきます。	・学校や園、保護者の思いと子どもそれぞれのニーズに対応できるようにしていく。
	28	事業所の支援に満足していますか。	33	3	0	0	・いつも穏やかで、子どもだけでなく母も、安心できる環境と先生です。感謝しかありません。 ・いつも親身に寄り添ってくださり、大変感謝しております。	・引き続き信頼関係の構築に努め、それぞれのニーズに対応できるようにしていく。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名	公表日	2024年	2月	1日
北播磨こども発達支援室ゆらんこ	利用児童数	19	回収数	18

チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	18	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私たちなりにやってみた事を評価しながらも、次のよりよい支援も教えていただけます。</li> <li>・ かわり方や言葉のかけ方、どんなことを取り入れるといいか等、具体的にアドバイスをいただき、実践しやすいです。</li> <li>・ 訪問支援後のフィードバックについて、十分に話をする時間が設けられないので、メール等の文書でアドバイスや効果がありそうな支援について送付していただくと非常に助かります。</li> <li>・ 支援員の立場から客観的に助言・説明してくださるので、参考にさせていただいています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校や園での生活に合わせた支援が必要であるので、先生方からの情報を共有しながら取り組んでいる。また物事の呈示だけではなく、支援する上でのポイントなども含めて説明するように努めている。今後も引き続き、情報共有しながら、より良い支援につなげられるようにしていきたい。</li> </ul>
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	18	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対子どもの支援方法の提案だけでなく、保護者の指導についても教えて頂き助かっています。</li> <li>・ 人とのかわり、遊び、情緒面等、それぞれに適切なアドバイスをくださるので満足しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 言語聴覚士が訪問に携わっているので、視点が違うからこそその支援ができればと取り組んでいる。当事業所での様子も共有しながら、連携していきたい。</li> </ul>
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	18	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ それぞれの悩みに対しても共感していただき、また細やかに回答をいただいています。</li> <li>・ 日々の姿からも、本児の課題を明確にして適切な回答をいただきました。</li> <li>・ 支援員の立場で教えていただいています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目標やニーズが、様々な理由から変わっていく部分もあるので、状況に合わせて取り組むためにも、しっかりと情報共有していけるよう努めていく。</li> </ul>
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	16	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アドバイスを実践することで子どもの成長が見られました。</li> <li>・ 話を聞いていただいたり、思いを話してくださったりしています。</li> <li>・ 保護者支援が目的で、情報共有の為に連携している対象者については、課題に対する支援をもらっていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 訪問の目的や目標が個々に違うなかで、少しでも課題や困りごとに対しての解決方法が見つければと取り組んでいます。今後も引き続き、専門的な視点を基に、より丁寧に説明していきたい。</li> </ul>
5 事業所からの支援に満足していますか。	17	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後もよろしく願います。</li> <li>・ 事業所での様子、園の様子を合わせて見てあげることができたく、満足しています。</li> <li>・ 児童観察をしてくださって気づかれたことを教えて頂けるのでありがたいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 月に一度の訪問になるので、細かい部分での情報提供が難しいところもあるが、それぞれのニーズに合わせた支援の方法の提供ができるようにしていきたい。</li> </ul>

その他のご意見	ご意見を踏まえた対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保護者との連携を十分に取ってくださるので、情報の共有がしやすく、行き違いなどがなくて助かっています。</li> <li>・ 園の様子と、事業所での様子を共有することができ満足しています。</li> <li>・ 訪問していただいた日の姿だけでなく、日々の様子もゆったりときいてくださり、アドバイスをいただけることがありがたいが、支援員自身の気持ちも軽くなります。</li> <li>・ 保護者の方自身がお子様の成長に納得されていなかったり、認められてなかったり…と園だけでは大変な課題がありましたが、2年間、園と事業所が連携をとって上手く就学に結び付けられたと思います。</li> <li>・ 定期的に訪問していただくことで、支援が必要な子どもに対しての適切なかわり方や、個々の成長の確認、こども園での集団のなかで、どのように支援していくことが望ましいのかを教えていただき、学びの多い時間となっています。</li> <li>・ いつも学校の立場や保護者の立場に寄り添いながら、「本人」にとって良い支援・指導についてお話しください。担任の先生にも意欲につながるよう認めていただき、ご助言いただいています。</li> <li>・ いつも笑顔で来校され、子どもの様子を温かく見守ってくれます。また、気づいたことを話していただき有り難いです。</li> <li>・ 同じ訪問支援員に継続して訪問していただくことで、対象児童の変化や成長に気付いて、共通理解が図れるだけでなく、保護者との連携にも有効だった。</li> <li>・ 引き続き連携をお願いします。</li> <li>・ 短時間でも口頭での確かな助言等がありがたいです。特に保護者対応について（思いの聞き取り）情報共有し、子どもに寄り添っていく、密な連携を今後もお願いします。</li> <li>・ 対象の子どもが増え、双方が忙しい中なので、訪問時に、情報共有・対応についての相談の時間をより多くとっていただき、書面等の活用も検討していただきたいです。</li> <li>・ 保育所等訪問の利用者によって目的が違い、一般的な課題が達成したら終了する場合と、情報共有の為に継続支援があるなど、更新時や引継ぎの際に、定期的に双方で目的の確認を今後も続けていく必要があると思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 月に1回程度の訪問支援ということもあり、時間の制限があったり、思いの相違があったりと情報共有や情報交換することが難しい面もある。個々にあった支援を、保護者と共に考え、その支援を学校や園と連携していくためには、事業所や保護者からの、より細かい情報を提供することや、意見や情報の交換をする機会をつくる必要があると考える。今後も、一人一人に合わせた支援方法を、保護者と学校や園と共有し、連携して、より良い支援につなげていきたい。</li> </ul>

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		北播磨こども発達支援室ゆらんこ		公表日		2025年 2月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	2		・施設先の担当の方と事物の呈示だけではなく、支援のポイントを含めたお話をさせていただいています。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2		・物理的な要素以外にも質的な要素も考慮し対応しています。	ニーズは増えてきているので、事業所として職員配置数を増やしていく可能性はあると思います。また、地域と連携した取り組みも今後さらに必要になっていくと思います。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2		・他の訪問職員や児童発達支援管理責任者などと目標設定や振り返りを行っています。 ・職員会議の場でも多くの職員と共有しています。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		・適宜、状況に合わせて保護者等の意向の機会は設けています。	・今回の評価表もそのような場として捉え、業務改善につなげていきます。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		・適宜、情報を共有する場を設けています。 ・節目に合わせて個別懇談も実施しています。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	1	・『外部』という観点からであれば、完全には実施できていませんが、研修で来られた講師の方や他事業所等に相談等は行っています。	・まずは事業所内での情報共有や評価をしっかり行い、第三者による外部評価は今後検討していきたいと思っています。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2		・職員にアンケートや相談等をして、講師に研修の依頼を行っています。		
適切な 支援の 提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2		・お子さんの様子や家族さんのニーズ、相談支援専門員さん、訪問先の状況等をふまえながら、作成しています。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2		・作成時には、ことば遣いなども含めて確認するように取り組んでいます。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2		・支援計画の作成する際には、訪問先の方のお話をふまえながら行っています。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		・職員が共有できるような環境を提供しています。また必要に合わせて確認するよう声掛けも職員会議などで行っています。		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2		・お子さんの様子や状況を、発達などに沿ったアセスメント、訪問先施設の方や家族さんからの話を聞きながら、関わっています。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2		・目標やニーズが様々な理由から変わっていく部分もあるので、状況に合わせて取り組んでいます。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		・職員が共有できるような環境を提供しています。また必要に合わせて確認するよう声掛けも職員会議などで行っています。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2		・複数名で訪問する際には、事前に情報共有等行っています。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2		・訪問終了後には、必ず児童発達支援管理責任者と訪問支援員と情報共有を行っています。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2		・事前に訪問先施設や担当されている方とお話ができる機会を持てるようにしています。また、状況等に合わせています。		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2		・毎回の訪問記録は必ず残しています。また、その記録をもとに、家族さんとのお話、訪問先施設との情報共有、次回訪問に向けた支援方法の検討を行っています。			
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2		・定期的にも状況的にも必要性にあわせて個別支援計画の見直しを行っています。			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2		・担当者会議や関係機関との連携会議には、積極的に担当している訪問支援員が参画するように努めています。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		・お子さんや家族さんの状況に合わせて、関係機関とは連携して取り組んでいます。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2		・就学に向けては、家族さんと就学先の担当の方とお話をしながらすすめています。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2		・常に職員間では共有し開かれた話を行っています。また他事業所にお子さんの様子をみにいかせていただいています。研修も参加しています。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	1	・参加し、職員にも情報共有を行っています。	・訪問日との兼ね合いもあるので、職員とも参加の日程調整ができるよう努めています。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	2		・訪問前には必ずご連絡させていただき、最近の様子等をお聞かせいただいています。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	1	・毎月のおはなし会の開催や他事業所が実施されている研修等の情報共有も行っています。	・職員会議等で研修会の周知に努めています。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2		・契約時には必ず丁寧に説明させていただいています。また、報酬改定があった際も丁寧に説明させていただいています。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2		・年度初めには訪問先施設の管理職さんへご挨拶含め、保育所等訪問支援事業についてもご説明をさせていただいています。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2		・訪問前のご連絡やご報告時に家族さんと都度思いやご意向を確認させていただいています。また、その際に家族さんがお子さんにお聞きされているやりとりにも参加させていただいています。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2		・「保育所等訪問支援計画」を呈示し、その書面を中心にモニタリングや支援計画の内容の説明をさせていただき、同意を得ています。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2		・家族さんのお気持ちを大切にしながら、お話をさせていただいています。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2		・毎月のおはなし会のご案内はさせていただいています。また、他事業所が取り組まれている父母の会の活動や兄弟会の案内は行っています。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2		・直接のお話や電話、メール、ライン、メッセージなど、お子さんや家族さんのライフスタイルに合わせて関わらせていただいています。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	1	・現在は、通信やSNS等で発信はしていませんが、玄関先にお出かけプログラムなどのご案内等は行っています。	・訪問のみでの利用の方にもお知らせできる形式も含めて検討していきます。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		・職員研修や職員会議等でも個人情報の取り扱いには話をしていきます。また、訪問前や訪問後の情報共有などの際に、児童発達支援管理責任者や他の訪問支援員などと情報の確認は行っています。	
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2		・お子さんの様子や家庭状況に合わせて、やりとりを行っています。		
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2		・メールや電話なども用いながら、訪問先施設と連携して取り組んでいます。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2		・基本的には実施後に直接お話をさせていただいています。また、訪問先施設の状況に合わせても調整させていただいています。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2		・状況に合わせて、直接のお話や電話、ライン、メール、メッセージ等でお伝えさせていただいています。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		・職員研修や職員会議等でも個人情報の取り扱いには個人情報保護方針に従い、努めています。また、訪問前や訪問後の情報共有などの際に、児童発達支援管理責任者等と情報の確認は行っています。	

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2		・訪問先施設からいただいた情報は大切に扱わせていただき、一緒に考えながらすすめています。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2		・それぞれマニュアルを策定し、定期的な見直しや基づいて訓練等を実施しています。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2		・安全計画を作成し、それに基づいてマニュアルを策定し訓練等を実施しています。また、物品等の期限等も定期的に確認し補充しています。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2		・ヒヤリハットの事案が起きた際には、あらかじめ定めている書面に基づき記載し、また全職員に観覧するようにしています。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2		・安全計画に、算定期間、見直し予定時期、保管場所を記載しています。また、全職員一年以内に研修し報告書を提出させています。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2		・法人全体で決定し、重要事項説明書に記載し説明させていただいています。また、同意もいただいています。	